

令和5年度

FD推進助成事業 成果報告書

教育開発推進機構 教育開発センター

もっと日本を。もっと世界へ。



KOOKAIGAKU UNIVERSITY

國學院大學

目 次

「FD推進助成事業」成果報告書の刊行にあたって.....	1
○令和5年度「FD推進助成事業」採択一覧	
○収録資料について（注記）	
I. 文学部.....	4
事業申請書、中間報告書、事業報告書、成果報告会資料	
II. 神道文化学部.....	76
事業申請書、中間報告書、事業報告書、成果報告会資料	
III. 法学部.....	97
事業申請書、中間報告書、事業報告書、成果報告会資料	
IV. 経済学部.....	114
事業申請書、中間報告書、事業報告書、成果報告会資料	
V. 人間開発学部.....	143
事業申請書、中間報告書、事業報告書、成果報告会資料	
VI. 観光まちづくり学部.....	160
事業申請書、中間報告書、事業報告書、成果報告会資料	
VII. グループFD.....	178
事業申請書、中間報告書、事業報告書、成果報告会資料	

令和5年度「FD推進助成（甲）事業」成果報告書刊行にあたって

國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター長 石川則夫

令和5年度は新型コロナ禍以前の状況に戻った1年間でした。授業のほとんどが対面方式になり、なによりも各教員の研究室を訪れる学生が増加し、研究会活動も再開して教室ばかりでなく、研究室にも賑わうような活気が戻ってまいりました。

さて、各学部の「FD推進事業」は1年間を通してほぼ計画通りに実施し、ここにその成果を発表することが出来ました。各学部の実務担当者にあってはひとかたならぬご苦労があったことと思われまじ、関係各位のご協力には改めて感謝申し上げます。

各学部ともに、授業改善、現行カリキュラム改善を目標としたFD活動を計画し、教員間の研修企画や学生への調査アンケートの分析、考察を掲げ、今後のカリキュラムのデザインをどうするか、授業運営の新しい方法の模索、そして学部の理念、アイデンティティを教員間で再確認するなど、多様な追究を試みているところですが、今年度の成果報告会において、各学部から報告された問題点、課題点を見ると、やはり例年と似たような事項が上がっていることが分かりました。たとえば、履修した授業の満足度を分析すると、専門科目や演習科目、実技科目の満足度はおおむね高い傾向にあるが、共通科目や、講義科目はやや低調に留まっていること。つまり、学部学科の専門領域に直接関わる科目の満足度は高いが、基礎的な教養科目群はそれほどでもない。従って3年生以上の満足度評価はおおむね高い傾向がある。しかし、少人数科目であることが必ずしも満足度につながってはいないことも指摘されました。そして、やはり学生が自ら選択した科目をそのまま履修できないことは、従来から指摘されているところです。

そして、今年度も昨年度に引き続き気がかりなのは、授業アンケートの回収率が低いことでありました。「学生のアンケート疲れ」とも指摘される場所ですが、KSMAPY IIでのアンケート回収方法の改善策があるかどうか。これは授業アンケートにおいても課題となっておりますので、引き続きご検討いただければ幸いです。

令和5年度「FD推進助成事業」採択一覧

*申請総額 4,602,460 円

項目	詳細
申請者	矢部 健太郎 文学部長
事業名称	カリキュラムおよび授業改善の基本方針検討
実務担当者	竹内 正彦 (文学部日本文学科教授)
申請額	800,000 円
申請者	一木 孝之 法学部長
事業名称	法学部新カリキュラムの実効性の検証
実務担当者	川合 敏樹 (法学部法律学科教授)
申請額	705,000 円
申請者	星野 広和 経済学部長
事業名称	学生アンケートによる新カリキュラムの教育効果
実務担当者	大西 祥恵 (経済学部経済学科教授)
申請額	700,000 円
申請者	西岡 和彦 神道文化学部長
事業名称	学生アンケート・学力調査に基づく、令和5年度の状況に即した授業改善検討
実務担当者	大道 晴香 (神道文化学部神道文化学科助教)
申請額	763,000 円
申請者	成田 信子 人間開発学部長
事業名称	人間開発学部における3ポリシーの理念の共有とその具現化のあり方を探る
実務担当者	柴田 保之 (人間開発学部初等教育学科教授)
申請額	350,000 円
申請者	西村 幸夫 観光まちづくり学部長
事業名称	「観光まちづくり演習」の充実に向けたスキルアップ事業
実務担当者	松本 貴文 (観光まちづくり学部観光まちづくり学科准教授)
申請額	764,460 円
申請者	平藤喜久子 (神道文化学部神道文化学科教授)
事業名称	宗教文化教育の方法及び教材に関する研究
実施形態	グループによるFD推進事業
申請額	520,000 円

※申請額については中間報告段階で減額補正等により変更が生ずる場合あり

収録資料について（注記）

本報告書に収録した資料は、以下の通りである。これらの資料は、原則として、学部・グループより提出された様式書のデータ版をPDF化したものである。

また、①担当者の個人情報等に係る箇所、②学部・グループ等の要望により学外非公開とした箇所については、収録にあたり一部削除・編集を施している。

1) 学部 FD 推進事業・グループによる FD 推進事業 事業申請書

- ・事業概要・予算計画に関する諸様式と添付資料のうち、事業概要部分を収録。

2) 学部 FD 推進事業・グループによる FD 推進事業 中間報告書（中間報告部分）

- ・中間報告・減額補正申請に関する諸様式と添付資料のうち、中間報告部分を収録。

3) 学部 FD 推進事業・グループによる FD 推進事業 事業報告書（+成果報告会資料）

- ・「FD 推進助成（甲・乙）事業 成果報告会」報告資料、および学部からの提出資料、学部・グループから提出された「事業報告書」について、原則としてその全体を表示。
- ・ただし、学部・グループからの要望により、概要部分のみの掲載、もしくは一部の実務上の記述について除外した箇所がある。

以上

令和5年度 教育開発センター委員

(委員長) 石川 則夫 教育開発センター長 (文学部教授)

原田 佳昌 教育開発センター副センター長 (教育開発推進機構担当次長)

菅 浩二 教務部長 (人間開発学部教授)

水口 学 文学部教授

川合 敏樹 法学部教授

辻 和洋 経済学部助教

大道 晴香 神道文化学部助教

柴田 保之 人間開発学部教授

十代田 朗 観光まちづくり学部教授

松本 忠和 教学事務部次長 (教学事務部教務課長兼務)

坂入 裕一 教育開発推進機構事務課長

藤井 哲彦 企画課長

* 職名・役職等は令和5年度当時のもの

令和5年度

FD 推進助成事業 成果報告書

編集・発行

國學院大學 教育開発推進機構 教育開発センター

令和6年4月1日